

今月の山柳



思い出は
線香花火と
わらべ歌

子供の頃、童謡を歌いながら、庭で線香花火をしたものです。パチパチとはじける音に歓声を上げて喜んだ昔の懐かしい日々が思い出されます。家族揃っての線香花火は子供の頃の日本の夏でした。

八女川柳会 安達 昇

今月の色

真赤
真赤な雲のいろ。破璃に真赤な酒のいろ。なんでもこの身が悲しがる。空に真赤な雲のいろ。北原白秋「空に真赤な」悲哀のような開き直りのような白秋の赤。

視覚デザイン研究所「和の色のものがたり」より



「夏は夜」。清少納言ならずとも夏の夜はファンタスティック且つ魅惑的である。この時期夏祭り、盆踊り、花火大会などが各地で催され、真夏の太陽に焼かれた体を夜風で癒そうとする人たちが賑わう。高齢者は夜間の人出の多い場所を敬遠するのか、親子連れや若い女性のグループが目を引く。みんな両脇に並ぶ露天を眺めながら楽しそうに歩いている。祭りの夜のイメージカラーは、金魚すくいのまっ赤な金魚と赤いイチゴ蜜のかかったかき氷である。レモン味の黄色、トロピカルブルーもあったが何故かいつもイチゴになった。

オープンキャンパスのご案内 ⑭

4月に新入生を迎えたばかりですが、次年度に向け学生募集を開始しました。今年は8月4日、9月8日、



10月6日、何れも日曜日に准看護科・看護科合同の『オープンキャンパス』を開催します。毎年多くの参加を頂き、看護職の魅力や本校の特色を説明しています。近年は特に少子化の影響を受けて、各種学校の応募者が減少傾向にあります。

そのため何処の学校も1人でも多く参加頂き、自分の目と耳で把握して貰いたいと様々な取り組みが行われているようです。

本校では、自然豊かな地域の風景や名所などを含め学校生活をより身近に感じてもらえる様に紹介しています。参加された皆さんは、在校生や現場で活躍している卒業生の話し

を聞き『看護職』への意識が高まるようです。

在校生の准看護科の平均年齢は23歳、看護科は26歳です。最近は社会人入学が目立ってきました。子育てをしながら『看護のライセンス』を取りたい希望者が増えています。

准看護科を卒業後は、就職と看護科への進学とに進路が分かれます。其々の希望や生活環境に応じた選択ができるのが本校の魅力でもあります。本校の卒業生はほぼ希望する医療機関に就職しており、この八女筑後地域の医療の一端を担っています。

看護学校へ進学を希望する人達は、学校生活、学習、学費、就職先など不安なことは其々です。教職員や両科の在校生達が一つひとつの質問に丁寧に答えてくれます。

是非オープンキャンパスに参加して頂き、多くの方に受験して頂ければと思います。

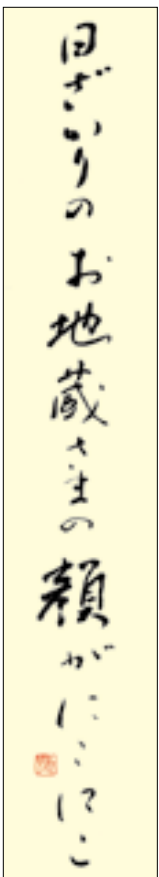
八女筑後看護専門学校
准看護科教務主任 田中 恵子

8月の道の駅たちばな

ひるよけ夏祭り
8月10日(祝) 10:00~17:00
活物センターで開催
ガラポン抽選会
手作り品展示販売
0生産者村直販所
トナードポテト / きゅうり漬け
毎週ジュースの宴 / びどうギフト箱
野菜盛りとろろ / ハセ茶
ほたる揚げ / 取野園地きりばし
道の駅 たちばな 立花町下辺春国道3号線沿
TEL 0943-37-1711



前園 龍子
筑後市熊野



書道教室「はるこい」で永田一晴先生のご指導をいただき数年経ちました。始めに驚いたのは、私の名前「龍」には華がある、と言われた事でした。墨で型の違う、「龍」を学んでゆくうちこの名前がやつと好きになりました。「お手本だけでなく、好きな言葉でも良い」先生の寛大さに甘え、今は山頭火の句を練習しています。人生の後半今だ着地点の定まらずの自分とどこか重なる気がするのです。仲間と先生を囲んで朱筆の動きを眼で追う。仲間の文字に刺激を受ける。心ゆたかな時が流れる「はるこい」の空間をととても大切に思っています。

三徳の家庭菜園 ④8

【クウシンサイ】 ～作りやすく、暑さに強い葉もの野菜～

クウシンサイは、サツマイモによく似たヒルガオ科の野菜で、つる状に伸びる茎が中空なので「空芯菜」と名づけられています。中国南部から熱帯アジアが原産のために暑さに強く、7～9月の葉もの野菜が少ない夏にぐんぐん育って、最初は主茎を収穫し、その後は次々と伸びてくるわき芽の収穫を繰り返し、この柔らかな葉茎を秋まで楽しめる重宝な葉もの野菜です。病害虫の被害も少なく、栽培は比較的容易です。

葉にぬめりがあって、茎はシャキシャキとした歯ごたえが特徴で、味はくせが無く、炒め物やお浸し料理などに適しています。葉茎にはビタミン、ミネラル、食物繊維などの栄養成分が多く含まれ、特にカロテンや鉄分はほうレンソウに劣らず豊富です。

生育適温は25～30℃と高温を好み、栽培は暑くなって来た5月以降ならば、鉢育苗も直まきも可能です。堆肥と基肥の量は、ほうレンソウなどの他の葉もの野菜と同量かやや多めに施して、株間は30～40cmは確保しましょう。草丈が20cm位になったら、1回目の追肥として1株当たり追肥用化成肥料の大きじ1～2杯を株間に施し、その後も、2週間ほどの間隔で同様に追肥を施すと、10月まで長く収穫を楽しむことが出来ます。

なお、土壌水分も好むので、植え付ける前にマルチを敷くか植え付け後に敷きワラや刈草などを敷いておきましょう。草丈が30～40cmに達したら、株元にわき芽を3節ほど残して、主茎の先端15～20cmを収穫し始めます。主茎の収穫後には、わき芽が次々に伸びて来るので、その後はわき芽の芽先を主茎と同様に継続して収穫します。この時も必ず、わき芽を1～2節は残しましょう。あまり伸びすぎると葉茎が硬くなってしまいますので、早めに摘みとります。



● 35cm前後の株間で植えて、草丈が30～40cmに達したら、株元にわき芽を3節程残して主茎の先端15～20cmを収穫始める。
※主茎の収穫後には、わき芽が次々に伸びて来るので、その後はわき芽の芽先を同様に継続して収穫する。この時も必ず、わき芽を1～2節は残す。

福岡県農業大学校 嘱託 林 三徳

こんにちは。
筑後警察署です。
60

筑後警察署から、夏休みの子どもに対する犯罪被害の予防や危険の防止についてのお願いです。

全国的に子どもが被害者となる事件事故が相次いでおり、筑後地区でも、子どもに対する声かけやつきまといなどの事案が発生しています。

子どもには、「知らない人にはついていかないこと！どこで誰と遊び、何時までに帰るか必ず話しておくこと！」を教えてください。



また、夏休みに入ると、家族で川にキャンプなどのレジャーに出掛ける機会が増え、水難事故などに遭う危険性も増えてしまいます。

日ごろから、家族で話し合いをするようにして、子どもに「危険な場所に近づかないこと！」を教えてください。

子供を危険から守るためには、家族や地域の方が子供たちの安全を見守ることが重要です。

「一人でいる子どもに目を配る！危険な場所にいる子どもに声を掛ける！」といった点に留意してください。

